



地域支えあいニュース

第25号 平成31年2月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム
(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812
E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

ささえあい井戸端会議視察研修会 in 柏市

平成31年2月19日、本市の各井戸端会議のメンバーなど総勢40名で、千葉県柏市社会福祉協議会が委託を受けて実施している生活支援体制整備事業について学びました。

今回の視察研修の目的は、現在綾瀬市では配置されていない「第2層生活支援コーディネーター」の役割について、先進市である柏市の事例を学び、今後の方向性を考えるきっかけとすることです。



柏市社協山口氏

当日は、午前中いっぱいかけて柏市へ移動。昼食をとったのち、柏市社協の事務局が入る“いきいきプラザ”に到着し、研修が始まりました。前半は、担当の山口氏より柏市における第2層生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）の概要についてお話を伺いました。

第2層生活支援コーディネーターを雇成型（社協職員等）で配置しているところが多くある中で、柏市の場合、雇成型ではなく、個人委嘱の住民型（地区社協、民生委員、介護保険事業所等）でその役を担っています。

寺尾南地区に本市最初のささえあい井戸端会議が発足して2年、現在は9地区で発足していますが、社会資源をつなぐ役割を担う地域住民の皆さんの活躍がコーディネーター活動の中核であるということを今日までの各地区における取り組みから感じ、



閉会挨拶をする寺尾南 堤座長

第2層生活支援コーディネーターに相応しいのではと捉えています。そして、今後第2層生活支援コーディネーターを配置していくのであれば、柏市を参考にしたいということで、訪問に至りました。

生活支援体制整備事業では、協議体（第1層・第2層）の設置、生活支援コーディネーターの配置の2つの事業を行うこととされており、綾瀬市はまず第2層協議体（ささえあい井戸端会議）を発足させ、その後生活支援コーディネーターを配置していく計画でしたが、柏市は逆で、生活支援コーディネーターを配置し、そのコーディネーターが第2層協議体作りを行っていくというものでした。「鶏が先か卵が先か」という議論はあると思いますが、今回の視察研修においては、それぞれのメリットとデメリットを知る良い機会になったと思います。

後半は、グループごとに柏市で活躍されている支えあい推進員の方々との意見交換を行いました。時間が足りなくなるほどの活発な意見が飛び交い、大変充実したひと時を過ごすことができました。

今後は、「第1層協議体運営会議」にて、今後の方向性を協議し、第2層生活支援コーディネーター配置について検討していく予定です。